土屋検定問題（歴史）　　（全42問）

「土屋郷土史・ぶらり土屋の里めぐり・ふるさと再発見」に掲載されているものです。
次の問いについて正しいのはどれでしょう。1～4の中から選んで答えましょう。

問01　土屋は三千年以上も前から人々が住んでいたと思われる跡があります。遠藤原や小熊原では、住居跡や土器等が発見されました。数多い遺跡の中で、6～8世紀ころの豪族の墳墓といわれる横穴古墳群は、次のうちどこにありますか。（現在は、産業廃棄物の違法投棄で埋没している）

1. 字遠藤原
2. 字源水
3. 字早田
4. 字高神山

問02　7世紀（645年）の大化の改新以後、土屋は次のどの郷に属していましたか。

1. 高座郷
2. 淘綾郷
3. 足柄郷
4. 大住郷

問03　平安時代（794～1185）荘園の発達によって、土屋は粕屋庄（糟屋庄）土屋郷となりました。土屋宗遠の父は、荘官として常陸の国笠間から赴任して今の中井町に住みつきました。その父とは、次の誰でしょうか。

1. 曽我祐家
2. 北条時政
3. 中村宗平
4. 三浦義明

問04　中村一族の三男として生まれた宗遠は、平安時代の終わりころ成人して糟屋庄土屋郷に住みつきました。在名をもって屋号として何んと呼ばれましたか。次の中から選んでください。

1. 土屋三郎宗遠
2. 土屋三郎宗清
3. 中村次郎宗平
4. 中村三郎友平

問05　平安時代の終わりころ、治承4年(1180)源頼朝を大将に、相模の武士たちは、平家を打倒するため戦を起こしました。この最初の挙兵を何んといいますか。

1. 関ケ原の合戦
2. 富士川の合戦
3. 石橋山の合戦
4. 川中島の合戦

問06　土屋宗遠ら中村一族は源平合戦に参戦し、1185年ある合戦によって平家一門を滅亡しました。この戦を何んといいますか。

1. 富士川の合戦
2. 壇ノ浦の合戦
3. 屋島の合戦
4. 山崎の合戦

問07　1185年に土屋宗遠は源平合戦に参加して、平家一門を滅亡させました。その帰り紀州(和歌山県)のある神社の御霊を分けていただき(勧請)、土屋字小熊野の地に奉りました。この神社は次のうちどれでしょうか。

1. 八坂神社
2. 愛宕神社
3. 造化神社
4. 熊野神社

問08　1192年源頼朝は征夷大将軍となり、鎌倉幕府が開かれました。平家打倒に貢献した土屋宗遠は強力な御家人のひとりとして地頭職になり、養子の土屋義清も御家人として重職に就きました。何んという職でしょうか。

1. 守護
2. 大学助
3. 荘官
4. 執権

問09　宗遠は、土屋の住民とともに未開の山野を開墾し田畑を耕しながら、鎌倉幕府の御家人として貢献しました。しかし幕府内の権力争いに巻き込まれ、1213年には和田義盛が執権北条氏に対し反乱を起こし、土屋次郎義清は和田氏に味方して戦死しました。この乱を何んといいますか。

1. 鎌倉合戦
2. 梶原事件
3. 和田の乱
4. 承久の乱

問10　南北朝末期の1186年円海が大乗院を中興し、寺分の正蔵院もこの頃創建された。室町幕府の確立後、土屋氏は明徳の乱や応永の乱等に参戦、一族の衰退が始まりました。1416年には関東一円の動乱に加わり敗戦した土屋氏は、領土を取上げられ土屋を去ったという。この乱は次のどれですか。

1. 和田の乱
2. 湊川の戦
3. 応仁の乱
4. 上杉禅秀の乱

問11　1495年北条早雲が大森頼春の小田原城を落とし、1497年には頼春が逃れ落ちた真田城も落城させた。この時早雲は土屋を通過するとき遠藤原や小熊原の麦畑に火を放ち暴れ回って、住民を襲い、大乗院にも火を放ったといわれている。この時に通過した街道は、次のうちどれでしょうか。

1. 鎌倉街道
2. 曽屋街道
3. 大磯街道
4. 小田原街道

問12　1502年早雲は、吉沢の字台に家臣を置き、土屋・吉沢・出縄・高根等を制圧し、荘園制を打破し領主と農民の一円知行制を布き分国に家臣団を配しました。この字台に配した早雲の家臣は、次の誰でしょうか。

1. 伊勢新九朗
2. 土屋氏遠
3. 布施康貞
4. 横山宗定

問13　戦国の小田原北条時代は、土屋寺分は神田次郎左衛門（20貫）、土屋庶子分は石巻正寿（50貫）の知行所となりました。土屋惣領分は、誰の（どこの）知行所だったでしょうか。貫:銭貨単位で銭千文を一貫（時代により異なる）

1. 早雲寺領（138貫200文）
2. 布施康貞（250貫100文）
3. 大久保長安（128貫300文）
4. 芳盛寺領（180貫500文）

問14　戦国の世の室町幕府滅亡直後、1575年長篠の合戦により、甲斐の国武田氏は織田信長勢に敗れ、その一部の家臣は他国へ逃れたという。この土屋にもその名がみえますが、甲斐武田二十四将の中でその名がみえないのは、次のうちどれでしょうか。

1. 秋山氏
2. 毛利氏
3. 原氏
4. 山本氏

問15　1590年小田原の役により後北条氏は豊臣秀吉によって滅亡しました。その結果、後北条氏の関八州は、1591年に徳川家康に与えられ、これまで関東で繁栄してきた小田原の機能は、ほかの地に移ってしまいました。この新しい地とは、次のうちどこでしょうか。

1. 水戸（現在の茨城県）
2. 江戸（現在の東京都）
3. 甲府（現在の山梨県）
4. 駿府（現在の静岡県）

問16　江戸時代に入り、小田原城主は大久保氏・稲葉氏と引き継がれ、土屋村は分村形態となり、初め天領と旗本の知行地でしたが、後に分割され旗本各氏が知行し明治に至りました。次のうち各村の知行地と旗本の組み合わせで、間違っているのはどれでしょうか。

1. 土屋村矢沢と田沢氏
2. 土屋村惣領分と窪田氏ほか
3. 土屋村庶子分と布施氏ほか
4. 土屋村寺分と大久保氏ほか

問17　江戸時代の元禄9年(1696)村高帳によると、土屋惣領は約480石・戸数89戸、土屋庶子分は約440石・戸数50戸です。それでは、土屋寺分の石高と戸数はどのくらいだったでしょうか。次のうちどれでしょうか。

石:体積の単位。主として米穀を計るのに用いる。1石＝10斗＝100升(180ℓ)

1. 約770石・戸数96戸
2. 約980石・戸数58戸
3. 約490石・戸数34戸
4. 約770石・戸数58戸

問18　江戸時代後期、現在の小田原市栢山の農家に生まれ、本を片手に薪を背負い苦学し、徹底した実践主義で、神・儒・仏の思想をとり報徳教を説き、自ら質素・倹約に努め世に広めました。小田原藩の家老に仕え、晩年は幕府の役人になり、安政3年(1856)69才で亡くなった人は誰でしょうか。

1. 二宮尊徳(幼名金次郎)
2. 新井白石
3. 青木昆陽
4. 平賀源内

問19　天保14年(1843)小田原報徳社が結成され、土屋では琵琶の原小太郎が伯父で二宮尊徳の高弟福住氏の指導を受け、明治19年(1886)に結社、後に惣領分、庶子分、寺分にも報徳社が設立され、農民の生活全般や農業技術・災害対策を指導しました。土屋で最初の結社名はどれですか。

1. 小田原報徳社
2. 寺分報徳社
3. 琵琶報徳社
4. 惣領分報徳社

問20　相模国風土記稿による土屋村の天保12年(1841)の戸数は、次のうちどれでしょうか。

1. 197戸
2. 253戸
3. 189戸
4. 312戸

問21　慶応3年(1867)の大政奉還により、政権は徳川幕府から王政に復古され、明治4年(1871)には、廃藩置県となりました。このとき小田原藩は、何んという県になったでしょうか。

1. 韮山県
2. 小田原県
3. 足柄県
4. 荻野県

問22　明治元年(1868)の土屋の戸数は、次のうちどれでしょうか。

1. 260戸
2. 385戸
3. 479戸
4. 538戸

問23　明治6年(1873)土屋小学校の前身である温知館が、ある寺にできました。その寺は、次のうちどのお寺でしょうか。

1. 矢沢の天宗院
2. 惣領分の芳盛寺
3. 早田の妙円寺
4. 小熊の大乗院

問24　明治22年(1889)市町村制施行により、旧土屋村と旧上吉沢村ともう一つの村が合併して、各村の一字を結合して土沢村が成立し、明治29年には中郡土沢村となりました。このもう一つの村とは、次のうちのどれでしょうか。

1. 中吉沢村
2. 下吉沢村
3. 吉沢村
4. 五分一村

問25　明治29年(1896)中郡土沢村となった翌年の「中郡勢誌」によると、土沢村の人口は3353人とあります。戸数はどのくらいあったでしょうか。次のうちから選んでください。

1. 445戸
2. 354戸
3. 545戸
4. 654戸

問26　大正12年(1923)9月1日、M7.9の大地震が発生しました。この大地震により土沢村で、全壊239戸、半壊194戸、破損55戸、死者20名、負傷者18名と村の全戸数が被害を受けたこの地震を、一般に何んといいますか。

1. 南関東大地震
2. 東海大地震
3. 関東大震災
4. 相模湾沖大地震

問27　昭和10年(1935)11月、土屋に県道「南金目・中井線」が開通しました。この県道の現在の名称は、何んといいますか。
次のうちから選んでください。

1. 県道15号線
2. 県道20号線
3. 県道77号線
4. 県道177号線

問28 昭和20年(1945)8月、太平洋戦争の終戦直前に、土屋はアメリカの空軍機P51の機銃掃射により、被害を受けました。寺分では犠牲者が出て、お寺も全焼しました。このお寺は、次のうちどのお寺でしょうか。

1. 矢沢の天宗院
2. 惣領分の芳盛寺
3. 早田の妙円寺
4. 小熊の大乗院

問29 昭和22年(1947)5月、土沢村村民の熱心な師弟愛の発露に基づき、「自分たちの子どもは、自分たちの土地で教育しよう」という意気が高揚し、土沢村単独設置の中学校を村の中心の人増に開校しました。
この土沢中学校が所在する字名は、次のどれでしょうか。

1. 字芹沢
2. 字鴻之巣
3. 字鷺田
4. 字堀切

問30 昭和31年(1956)9月、土沢村(戸数605戸・人口3971人)は、市町村合併により、ある市町に合併しました。
次のどの市町に合併しましたか。

1. 秦野市
2. 中井町
3. 平塚市
4. 大磯町

問31　昭和33年(1958)座禅川橋、36年(1961)市道幹道15号線、38年(1963)土屋幼稚園がそれぞれ完成・開園しました。
土屋公民館が完成運用されたのは、次のうちいつでしょうか。

1. 昭和43年(1968)
2. 昭和53年(1978)
3. 昭和33年(1958)
4. 昭和48年(1973)

問32　昭和49年(1974)愛宕山自然公園が開園、昭和50年(1975)土沢地区自治会連絡協議会が発足しました。昭和55年(1980)土屋小学校が現在地に新築移転した年の土屋地区の世帯数と人口は、次のうちどれでしょうか。

1. 438世帯、3340人
2. 635世帯、5890人
3. 558世帯、2864人
4. 667世帯、3256人

問33　昭和56年(1981)青少年健全育成のために「平塚市びわ青少年の家」がオープン、昭和57年(1982)一般廃棄物最終処分場の第一期工事が始まりました。次のどの地区に処分場が設置されたのでしょうか。

1. 人増地区
2. 矢沢地区

3. 琵琶地区
4. 遠藤原地区

問34　平成元年(1989)上惣領に「平塚市七国荘」、惣領分に「神奈川大学平塚キャンパス」がオープンしました。その翌年は、従来の盆踊り大会に代わり、あるまつりがスタートしました。次のうち何んというまつりでしょうか。

1. 土屋ふれあい盆踊り
2. 土屋ふれあい夏まつり
3. 土屋たいこまつり
4. 土屋ゆうあい夏まつり

問35　平成2年(1990)市が提唱する「平塚(＊)ハイテクパーク地域整備構想」を受け、土沢地区で自らの協力と責任により、魅力と活気ある里づくりに取り組もうと、「湘南丘陵整備推進研究会」が発足しました。
(＊)に入る語を、次の中から選び、整備構想の名称を完成してください。

1. うつくしの丘
2. ゆりの丘
3. ばらの丘
4. うるわしの丘

問36　小熊大乗院所有の水呑地蔵は、雑木林に囲まれた小高い台地にありましたが、昭和30年代の開発で、現在の姿になりました。水呑地蔵の周りに植えた桜の森を育てていこうと、平成3年(1991)大庶子分自治会で草刈りなどをして、見守り育てていくことになりました。この森を何んといいますか。

1. ふるさとの森
2. ちびっ子の森
3. 水呑の丘
4. うるわしの森

問37　平成4年(1992)、上吉沢1617番地に神奈川県農業総合研究所が開設されました。この年土屋に、市民の安心・安全を守るため、ある団体が結成されました。この団体名は、次のうちどれでしょうか。

1. 平塚市消防第17分団
2. 平塚市防犯協会土屋支部
3. 平塚市交通安全協会
4. 平塚市社会福祉協議会

問38　平成9年(1997)、平塚市消防第17分団の新庁舎完成、土屋幼稚園2年保育に、800世帯・人口3404人、市立土沢中学校創立50周年記念で校歌碑が建立される等がありました。この年、旧土屋小学校にあった像が、修復され、新校舎の校門脇に移転しました。この像を何んといいますか。

1. 土屋三郎宗遠公像
2. 源頼朝像
3. 北条早雲像
4. 二宮金次郎像

問39　農業従事者の高齢化や後継者の減少、また、社会環境の変化により、耕作放棄による農地の荒廃化、雑木林の荒廃等が目立ち始めてきました。自然環境への影響もあり、これを見て、少しでも荒廃を食い止めようと、平成12年に、ある団体が立ち上がりました。この団体は、次のどれですか。

1. 土屋の里山を蘇えらせる会
2. 土屋の里山を守る会
3. 土屋の自然を守る会
4. 土屋の自然を考える会

問40　平成15年(2003)、土屋公民館が移設新築しました。昭和43年初めて土屋に設置、35年間利用され、老朽化に伴い新築移転したものです。昭和63年からは、窓口センターが開設され、市民の利便性も確保されています。この公民館の、建築内容で正しいのはどれでしょうか。

1. 鉄筋コンクリート3階建
2. 鉄骨2階建
3. 鉄筋コンクリート2階建
4. 鉄骨3階建

問41　土屋は、交通量の増加や幅の狭い道路により、交通安全の保障が十分ではない。そこで中庶子分自治会では、平成16年(2004)「県市道拡幅工事推進協議会」を設け、安全な道路幅の確保、交差点の完全十字路化をめざしました。この対象道路は、次のどれでしょうか。

1. 県道77、市道20号線
2. 県道77、市道15号線
3. 市道15・20号線
4. 県道77、市道15・20号線

問42　平成14年、土沢地区農業集落排水事業計画が立案され、22年5月1日から供用開始しました。この農集排事業は、し尿や風呂・台所などの生活雑排水を公共汚水枡に流し、排水処理施設で処理された後、その一部を金目川へ流出します。この排水処理施設は、土屋のどこにありますか。

1. 土屋字源水
2. 土屋字入宇田
3. 土屋字鷺田
4. 土屋字小熊下